

# 平成 28 年度岐阜県計画に関する 事後評価

令和 7 年 1 月  
岐阜県

※令和 5 年度執行事業への財源充当分個票のみ掲載

## I 病床機能分化・連携の推進

事業の区分	1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【NO.1】 がん診療施設設備整備事業	【総事業費】 299,123 千円
事業の対象となる区域	県全域	
事業の実施主体	医療機関（病院）	
事業の期間	平成 28 年 8 月～令和 7 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>本県の死亡率の第 1 位である悪性新生物（がん）は、罹患する者が増加傾向にあるため、地域のがん医療を実施する病院の医療機能を強化するとともに、がん診療連携拠点病院やかかりつけ医との連携体制を構築していくことが必要である。がんの診断水準及び治療水準の向上や、機能の分化により、急性期病床の減少を図る。</p> <p>アウトカム指標：急性期病床の減少（地域医療構想の全体目標値） 10,266 床（平成 26 年度）→5,792 床（令和 7 年度）</p>	
事業の内容	がん診療施設の施設整備費及び必要ながんの医療機器及び臨床検査機器等の備品購入費に対して補助を行い、機能の分化やがんの診断水準及び治療水準の向上を図る。	
アウトプット指標	<p>補助する医療機関数 設備：6 病院（令和 3 年度）→7 病院（令和 4 年度）→6 病院（令和 5 年度） 施設：1 病院（令和 3～5 年度）、1 病院（令和 6, 7 年度）</p>	
アウトプット指標（達成値）	<p>補助する医療機関数 設備：6 病院（令和 5 年度） ※うち 1 病院は令和 4 年度からの繰越 施設：1 病院（令和 5 年度）</p>	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後 1 年以内のアウトカム指標： 急性期病床（病床機能報告結果より） 7, 588 床（令和 4 年 7 月 1 日時点）→7, 452 床（令和 5 年 7 月 1 日）</p> <p><b>（1）事業の有効性</b> がん診療連携拠点病院及びそれをサポートする医療施設におけるがんの検査・診療能力が向上することにより、拠点病院を中心とした連携体制の構築とがん診療の均てん化が一層進むものと考えられる。</p>	

	<p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <p>事業の実施により、がん診療施設に対し、がんの早期発見やがん診療に必要な設備を整備することができ、がん診療の均てん化、がん診療水準の向上が図られた。</p>
その他	

事業の区分	1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【No.3】 病床機能分化・連携基盤整備事業費補助金	【総事業費】 4,617 千円
事業の対象となる区域	県全域	
事業の実施主体	医療機関（有床診療所含む）	
事業の期間	平成30年4月1日～令和6年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	本県における必要病床数は、令和7年の時点で、回復期病床が大きく不足する一方、急性期及び慢性期病床が過大となると見込まれる。	
	アウトカム指標：回復期病床への転換数 3,600 床 (令和7年度)	
事業の内容	病床の機能分化・連携を推進するため、急性期病床及び慢性期病床から回復期病床に転換する際に必要となる施設・設備整備に対して助成を行う。	
アウトプット指標	回復期病床への転換を図る病院数及び病床数 1 病院、40 床（令和5年度）	
アウトプット指標（達成値）	回復期病床への転換を図る病院数及び病床数 1 病院、40 床（令和5年度）	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標： ・令和3年度 2,692 床 ・令和4年度 2,682 床（▲10 床） ・令和5年度 2,874 床（192 床）	
	<b>（1）事業の有効性</b> 病床機能転換のインセンティブとなっている <b>（2）事業の効率性</b> 事業実施主体において競争入札により経費を節減しており、効率化が図られている。	
その他		

事業の区分	1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【No. 5 (医療分)】 医療機能特化推進事業	【総事業費】 61,089 千円
事業の対象となる区域	県全域	
事業の実施主体	医療機関 (病院)	
事業の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	地域における質の高い医療を確保し、病状に応じた適切な医療を効果的、効率的に提供するためには、医療機能の特化が必要である。	
	アウトカム指標：回復期病床への転換数 3,600 床 (令和 7 年度)	
事業の内容	救命救急あるいは特定の疾患の治療など、病院が特定の機能に特化・強化するために必要となる施設整備、設備整備に対する助成。	
アウトプット指標	機能の特化・強化を行う病院数 6 病院 (令和 2 年度)、7 病院 (令和 5 年度)	
アウトプット指標 (達成値)	機能の特化・強化を行う病院数 7 病院 (令和 5 年度)	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標： ・令和 3 年度 2,692 床 ・令和 4 年度 2,682 床 (▲10 床) ・令和 5 年度 2,874 床 (192 床)	
	<p>(1) 事業の有効性 5 疾病 5 事業分野の医療機能が強化され、医療機能の特化に寄与している</p> <p>(2) 事業の効率性 事業実施主体において競争入札により経費を節減しており、効率化が図られている。</p>	
その他		

事業の区分	1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【No.12】 医療機関統合再編施設整備費補助金	【総事業費】 300,913 千円
事業の対象となる区域	県全域	
事業の実施主体	医療機関（病院）	
事業の期間	令和4年4月1日～令和8年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	地域医療構想の実現に向けて、将来の医療需要を見据えた医療機能の再編を促していくには、医療機関における統合や再編に係る施設整備費を支援する必要がある。	
	アウトカム指標： 回復期病床の増床数 3,600床（令和7年度） （令和5年度：320床の増床）	
事業の内容	地域医療構想の実現に向けた病院再編統合に係る施設設備整備に対して補助を行う。	
アウトプット指標	病院の再編統合 2件（令和7年度） 令和3～5年度：1病院 令和5～6年度：1病院	
アウトプット指標（達成値）	病院の再編統合 2件（令和5年度）	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標： ・令和3年度 2,692床 ・令和4年度 2,682床（▲10床） ・令和5年度 2,874床（192床）	
	<p><b>（1）事業の有効性</b></p> <p>病院の再編統合による病床数の変動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高度急性期 ▲15床</li> <li>・急性期 ▲2床</li> <li>・回復期 97床</li> <li>・慢性期 ▲80床</li> </ul> <p><b>（2）事業の効率性</b></p> <p>複数医療機関の再編統合により、医療機能の再編が行われ、効率的な医療提供体制の確保が進み、地域医療構想の推進が図られる。</p>	
その他		